



株式会社パソナグループ 株主通信

2011年6月1日～2012年5月31日

昨年度は東日本大震災からの一日も早い復興に向け、様々な支援活動に全力で取り組んでまいりました。株主の皆さまの変わらぬご支援とご厚情に対し、改めて御礼申し上げます。

■ 東日本大震災の復興支援

震災から1年5ヵ月が経過し、被災地域では復興需要によって企業活動にも活気が戻りつつあります。私たちパナソニックグループは、震災直後から被災地域での就労支援やメンタルケアのほか、全国各地に一時避難をされている方々の就労支援を、全国の地方自治体の協力を得ながら行ってきました。また、チャリティコンサートの開催やグループ会社のベネフィット・ワンを中心に「東北六魂祭」への参画など、被災地の産業復興にも積極的に取り組みました。

しかしながら、震災による被害は大きく、広範囲に及ぶため、復興には長い年月が必要となります。私たちは今後も、雇用創造やボランティア活動など、復興に向けた活動を継続的に行ってまいります。

■ 若者の新しい働き方の提案

今年3月末の大学新卒者の就職率は93.6%となり、昨年比で2.6%上昇しました。しかし、就職を途中で諦めた学生を含めると、いまだに10万人近い若者が働きたくても働けない環境にあります。

私たちはこの若年層の問題に対して、2010年から「フレッシュキャリア社員制度」を開始し、卒業後一時的にパナソニックが社員として採用することで、就職までの空白期間を作らず就職活動ができる仕組みを提供してきました。昨年度はこのプログラムを通じて約2,600名の若者を支援しました。

私たちがなぜ、若者の雇用問題に取り組むのか。理由は2つあります。1つ目は、目的のないフリーターを作らないこと。2つ目は、日本の将来を担う若者に自信と希望を与えることです。若者が自らの目標に向かって汗水流して努力し、希望の道を切り拓いていく。そのためのインフラを私たちが作るのだという使命感を持ってこの問題に取り組んでいます。

しかし、若者の就職環境は毎年の経済状況によって大きく変化します。また、若者たちは多様な価値観を持っており、必ずしも企業への就職だけを望んでいるわけではありません。そこで今年4月からは新たに「ギャップチャレンジプログラム」を開始しました。“学校卒業＝就職・就社”を目指すのではなく、卒業後に様々な経験を積んで自分の目指す道を明確にするためのプログラムです。カリキュラムにはベンチャー、農業、グローバルの3つのコースがあり、現在30名のギャップチャレンジ社員が兵庫県淡路島で研修プログラムに参加しています。今年から大学でも“ギャップイヤー”が注目を集めています。パナソニックグループは若者が自信と誇りを持って社会で活躍できる、新しいインフラ作りに挑戦しています。

■ 農業そして地域の活性化が雇用を創出!

私たちは農業分野での雇用創造を目指して、2003年から独立就農希望者を育成するプログラムを開始しました。現在は農家や農業進出を考える企業に向けて、農業関連のコンサルティングのほか、教育研修も実施しています。



昨年12月には「株式会社パナ農援隊」を設立して、就農支援事業のほかに兵庫県淡路島等の自社農場で収穫された新鮮な野菜やオリジナル加工品の販売を、首都圏企業のオフィス内を中心に開始しました。

そして、昨年4月から兵庫県の受託事業として開始した「ここから村」プロジェクトでは、“半農半芸”という新しい兼業スタイルで、若い芸術家たちが事業を興す企画力やマネジメントスキルのほか農業技術を兵庫県淡路島で学んでいます。昨年度から延べ260名の方々がこのプログラムに参加しました。若者の価値観に合わせた働き方を提案することで、都市部から地方に人材を集め、地域の活性化を目指しています。

そして今年8月から、昨年淡路市より無償譲渡を受けた廃校「旧野島小学校」を活用した取り組みがスタートしました。『のじま スコーラ』という名称で地域資産を再活用し、地元野菜の販売やレストランの運営など、観光と農業を掛け合わせ雇用創造と地域活性化を目指してまいります。

また今後、パナグループは「株式会社パナふるさとインキュベーション」を9月を目処に設立し、淡路島でのノウハウをモデルケースに、全国の地方自治体と連携して、地方での雇用創造と地域活性化に取り組んでまいります。

昨年は東日本大震災の影響、そして欧州でのギリシャ経済危機、急激な円高など、たった1年で私たちを取り巻く環境がめまぐるしく変化しました。

こうした環境の変化をしっかりと受け止めて対応し、これからも、私たちの“芯”である企業理念「社会の問題点を解決する」に立ち返り、働きたいと願う一人ひとりがイキイキと活躍できる新たなインフラサービスを提供してまいります。

今後も皆さまからの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2012年8月

代表取締役 グループ代表

南部靖之

ソーシャルアクティビストとして震災復興に取り組む

東日本大震災から約1年半、パナグループは雇用創造を復興支援の柱と考え、被災地をはじめ全国で就労支援や農業人材育成に注力してきました。また、東北地方に活力を取り戻すため、復興イベントの企画やボランティアなどの活動も行っています。今後もグループ全体で復興支援を続けていきます。

被災地で、やむなく離職された方や 若年層の就労を支援

やむなく離職された方や若年層の就労を支援するため、被災地で就労支援事業を受託しています。仮設住宅を巡回して経営再建や就職の相談にのったり、仙台で就職イベントを開催して求人紹介や就職カウンセリングを行ったほか、無料電話相談窓口の開設や、東北の学生の就職活動を応援するために仙台ー東京間の無料シャトルバスを運行するなど、様々な取り組みを実施しました。



「パナ災害復興支援隊」を結成して福島県内2,000ヶ所以上の全仮設住宅を訪問しました



被災地で就職や資金調達、事業再建などの経営相談に応じる無料相談所を運営しました

パナテック 仙台に東北初の拠点を開設

パナテックは今年2月、東北初拠点となる仙台支店を開設しました。スマートフォンのアプリケーション開発エンジニアやクリエイターなど、需要が急増しているIT専門人材の育成や、キャリア開発を支援しています。また、仕事と子育て・介護を両立しやすい在宅ワークを推進する事業を受託。IT活用によって若者や主婦の就労を支援し、東北経済の活性化に貢献していきます。



仙台で開講した在宅就業支援事業の研修には70名以上の方が参加されました



厳しい経済環境でもIT専門人材の需要は大きく、就職につながりやすくなっています

全国の自治体で事業を受託 被災者の生活・健康をサポート

各地で避難生活を送る被災者の就労を支援するため、大阪府「被災者」OBフェニックス事業」など、避難先での仕事紹介のほか、住居・健康・メンタルなど生活面のサポートも行う事業を全国で受託しています。また、自治体のみならず、企業やNPOとも協力して、被災地で暮らす方の健康管理調査、自治体が発信する地域情報が簡便な操作で見られるIT端末の配布・普及や、避難先で暮らす方にふるさとの現況を伝える業務などを受託しています。

「避難先で新しいチャンスをいただいたことに感謝」



「障害者の方の雇用創造のために取り組みたいことがたくさんあります」と話す羽山さん

大阪府「被災者」OBフェニックス事業」登録者
羽山 道子さん

福島県南相馬市で被災し、息子と避難所を転々としていた時、大阪府被災者「OBフェニックス事業」でパナハートを紹介され、周りの方々の温かいサポートを受けながら1年が経ちました。現在は「アート工房・大阪」の責任者として、商品企画・開発やメンバーの指導をしています。この歳になって新たなことに挑戦できるチャンスをいただいたこと大変感謝しており、これからも一歩一歩前進していきたいと思っています。

当期の復興関連の取り組み

就職が決定した被災者の方	約	1,000	名
被災地ボランティアに参加した社員	のべ	3,400	名
募金活動やチャリティによる募金総額	約	5,200	万円

その他の当期の雇用創造の取り組み

全国で就業支援した若年層	約	11,000	名
全国で就業支援したシニア	約	13,000	名
全国で新規就農された方	約	300	名

東北6大祭りが集結「東北六魂祭」に参画

第2回「東北六魂祭」が今年5月に岩手県盛岡市で開催され、予想を上回る24万人以上が来場しました。ベネフィット・ワンは昨年に引き続き集客・運営に協力し、「東北六魂祭」の成功に大きく貢献しました。来年は福島県での開催が決定しており、引き続き支援していきます。



「復興は続く」を合言葉に、ツアー開催や無料バス運行、宣伝などで集客に貢献しました



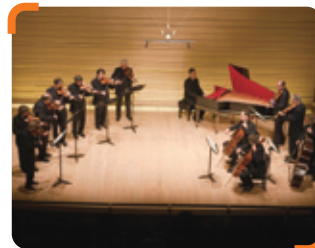
ブースの出展や、チャリティ、ボランティアにグループ社員1,000名が参加しました

音楽で癒しと元気を チャリティコンサート開催

音楽により被災者の心をケアするため、様々な音楽活動を行いました。今年3月11日に「東北こどもオーケストラ」のコンサートを開催、Ustreamでも配信されました。また、ベルリン・フィルハーモニーのメンバーの強い希望により「ストラディヴァリウス鎮魂コンサート」が実現しました。



「東北こどもオーケストラ」の音楽指導などをボランティアで行っています



首都圏に避難中の被災者の方々に「ストラディヴァリウス鎮魂コンサート」に招待しました

農・漁業の再生を担う 人材を育成

震災や津波で甚大な被害を受けた農・漁業を再生するため、官公庁・自治体から人材育成事業を受託し、被災地で研修や農業実習を行っています。また、兵庫県淡路島にパソナグループが開設した「東北復興・淡路島ファーム」では、被災者が就農やビジネスに必要な知識・技術を習得しながら、被災地の産業復興を担う人材になることを目指しています。

「農業で東北ブランドの回復を目指しています」



現在、バイオマスエネルギーなどに活用できるひまわりの栽培に力を注いでいる及川さん

「東北復興・淡路島ファーム」参加者
及川 有情さん

被災して目標を失いかけていた私に、高校の恩師が「東北復興・淡路島ファーム」の存在を教えてくださいました。地元の農家や講師の方々が、初心者ばかりのメンバーに農業の知識や技術を丁寧に教えてくださり、皆さんの真摯な姿勢から農業の楽しさ、厳しさと奥深さを実感しています。淡路島で学んだノウハウを故郷に持ち帰り、将来、東北ブランドを回復させることが皆さんへの恩返しだと信じて、大地にしっかりと足をつけて仕事にまい進していきます。

2012年5月期 連結業績ハイライト

- 売上高は前期比+1.5%、売上総利益は微増
- リスクマネジメント強化や事業拡大への先行投資により販管費が増加し、営業利益が減少
- 法人税制改正の影響や少数株主利益の増加で、当期純利益は△92.9%と大幅減益

売上高

1,815 億円 (前期比 +1.5%)

- インソーシングは緊急雇用案件や行政事務代行に加えて民間企業からの受託増加で大幅な増収
- ブレース&サーチも人材需要が活発化して大幅に伸長
- グローバルソーシングも現地人材の需要増と派遣やアウトソーシングの伸長で増収
- エキスパートサービスは派遣需要の抑制と、インソーシングへの移行を戦略的に推進したことから減収

営業利益

20 億円 (前期比△19.2%)

- インソーシングの粗利率低下影響もあって売上総利益は微増に留まる
- リスクマネジメント強化や、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業拡大に向けた先行投資、地域活性化事業への注力などから販管費が増加し、減益

当期純利益

0.3 億円 (前期比△92.9%)

- 法人税率引き下げにより法人税等調整額が膨らんだことや、少数株主利益の増加により大幅な減益

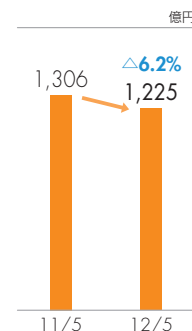
セグメント別業績

● HRソリューション

エキスパートサービス(人材派遣)

売上高 **1,225** 億円

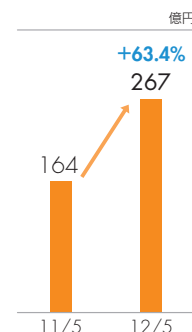
- 厚生労働省の派遣職種適正化推進による需要抑制、インソーシングへの戦略的な移行の推進により、長期稼働者数が減少
- 秘書やメディカル分野の育成型派遣に注力し、派遣スタッフの高度化・専門化を推進



インソーシング(委託・請負)

売上高 **267** 億円

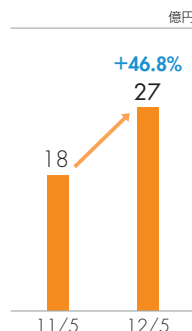
- 官公庁や自治体等の緊急雇用案件に加え、総務・事務センターや行政窓口業務の受託増加
- 農業人材育成事業の受託も堅調に推移
- 民間企業の受付・経理・総務業務の受託も増加



ブレース&サーチ(人材紹介)

売上高 **27** 億円

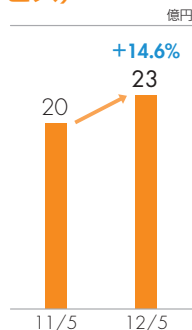
- IT関連、メディカル業界を中心に正社員採用が活発化
- 日本企業のグローバル化に伴う国内求人が増加



グローバルソーシング(海外人材サービス)

売上高 **23** 億円

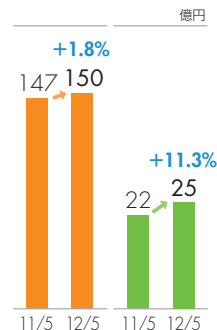
- 台湾、インド、中国などアジア中心に人材紹介が増加、人材派遣、給与計算等のアウトソーシングサービスも伸長
- 韓国、インドネシアに進出、インド・グルガオンと米国・テキサスに支店開設、上海ペイロールセンター開設により、海外拠点は10カ国34カ所に



アウトソーシング

売上高 **150** 億円 営業利益 **25** 億円

- 大企業・官公庁の法人会員に対して提案営業を推進し、福利厚生サービスメニューを拡充
- 「カスタマー・リレーションシップ・マネージメント(CRM)事業」で企業の顧客から直接収入を得るパーソナル事業等の新規サービスに注力

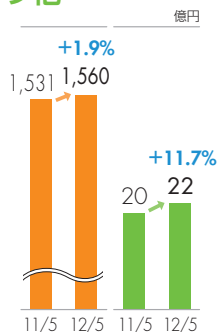


エキスパートサービス、インソーシング他*

売上高 **1,560** 億円 営業利益 **22** 億円

*エキスパートサービス、インソーシング、HRコンサルティング、プレース&サーチ、グローバルソーシングの合計

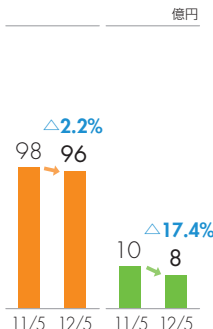
- インソーシングとプレース&サーチの大幅増収により、増益
- インソーシングの粗利率低下の影響はあったものの、コストは前期と同水準に抑制



アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 **96** 億円 営業利益 **8** 億円

- 新規受注は減少したものの、下期から雇用調整、海外移転などによる需要が増加
- 次期以降の需要増を見据え、人員拡充と拠点開設を先行的に実施



■セグメント別業績 (セグメント間取引消去前)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
HRソリューション	180,581	5,525
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	156,028	2,211
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負) HRコンサルティング	151,008	2,211
プレース&サーチ(人材紹介)	2,692	
グローバルソーシング(海外人材サービス)	2,327	
アウトプレースメント(再就職支援)	9,594	834
アウトソーシング	14,959	2,479
ライフソリューション(保育関連事業含む)		
パブリックソリューション シェアード	3,732	42
消去又は全社	△2,816	△3,603
合計	181,498	1,964

2012年5月期の主な成果

当期は多様化する顧客ニーズに応えるため、積極的にM&Aに取り組み、株式会社国際交流センター、キャプラン株式会社、株式会社安川ビジネススタッフ、ビーウィズ株式会社を新たに子会社化し、トータルソリューションサービスを提供できる事業基盤を構築しました。

M&Aによる専門人材、成長事業の強化

- **キャプラン** 貿易事務などの専門人材に加えて約6,000社の教育・研修実績を有する
- **ビーウィズ** 三菱商事と共同経営でBPO事業を強化
業界屈指の業務分析・プロジェクトマネジメント力が強み
- **安川ビジネススタッフ** 安川電機グループ。九州エリアの営業を強化
- **国際交流センター** 翻訳・通訳を強化。各種外国語に精通したスタッフ約10,000名の登録実績

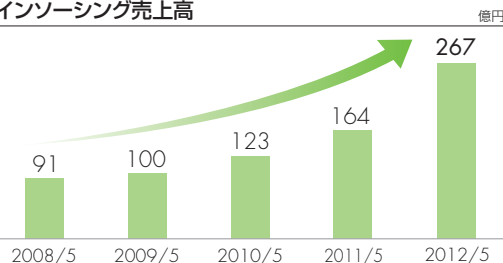
※2012年8月に「株式会社パンナランゲージ」に社名変更しました

新しい連結子会社は
次期から
業績に寄与

インソーシングの拡大

- **パブリック**
若年層や被災者の就労支援事業に加え、総務・事務センターや行政窓口業務などへの領域拡大に注力
- **民間企業**
受託が増加したほか、ニーズの多様化に応じてクライアント内部業務の外部集約化（センター化）も提案

インソーシング売上高



自治体の実績をもとに
業務領域の
拡大を目指す

海外関連事業の積極展開

- **サービスエリアの拡大**
韓国、インドネシアに進出したほか、グルガオン（インド5拠点）、テキサス（北米10拠点）、上海（中国7拠点）に拠点新設
- **サービスメニューの拡充**
上海ペイロールセンターを開設し、海外駐在員の給与計算・労務を一括管理するアウトソーシングサービスを開始



独自の海外ネット
ワークを拡張し、
10地域34拠点体制に

2013年5月期の 重点戦略

次期は、当期に拡充した事業基盤をもとにグループシナジーの最大化を図り、アウトソーシング(BPO)や企業の海外進出サポートなどをさらに強化して事業拡大を図ります。

重点戦略

施策

1 ソリューション サービスの強化

- **多様化する顧客ニーズに応える体制を構築**
 - ▶ 派遣からインソーシング、インソーシングからアウトソーシング(BPO)への移行など、様々な提案が可能に
 - ▶ キャブランの教育・研修等メニューの拡大
「プレゼンスアカデミー」(旧 JALアカデミー)
- **グループシナジーの最大化を図る**
 - ▶ 貿易事務、翻訳・通訳など専門派遣の更なる強化
 - ▶ 総合的な人材活用コンサルティングの推進



中国・大連(写真)、ベトナム・ホーチミンの IT/BPOセンターにビーウィズの全国8拠点のコンタクトセンターが加わりました

2 パブリック (自治体)向け 戦略の強化

- **行政事務代行領域の拡大**
 - ▶ 緊急雇用案件の実績をもとに総務事務を横展開
 - ▶ 高度な案件の獲得と受託範囲の拡大を目指す
- **パートナー企業との連携によるパッケージメニュー**
 - ▶ メーカーや大手通信事業者などと連携して提案の付加価値を高め、営業を強化

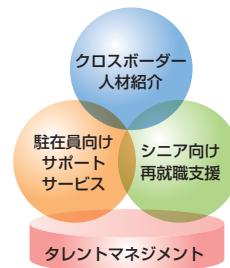
● 自治体案件受託実績
全国121自治体



電機メーカーと連携し、千代田区総合窓口 Suica決済カウンターを運営

3 グローバル事業 の深耕・拡大

- **グローバルサービスの拡充**
 - ▶ キャブランによる海外赴任前研修やグローバルトレーニング
 - ▶ 「タレントマネジメントシステム」*導入により顧客の人材データベース化を進め、海外拠点間の人材紹介、駐在員向けサポート、シニアの再就職支援などのサービスを強化
- **成長地域へ経営資源をシフト**
 - ▶ アジアを中心に成長地域への出店を強化
 - ▶ ベネフィット・ワンが中国で日系企業の中国人従業員向けにインセンティブサービスを開始



顧客が国内・海外の人材をデータベース化することによって、求める人材やスキルが明確になり、人材サービスの有効性が高まります

*効果的な人材活用プロセス確立のため、人材の能力・スキルをはじめ、成果や潜在的可能性までデータベース化し、可視化するシステム

2013年5月期 連結業績見通し

- 積極的にM&Aを推進して強化した事業基盤をもとに、グループシナジーを徹底的に追求
- 業務プロセス効率化のコンサルティング、アウトソーシング受託、海外進出サポートなどのサービスを強化
- 販管費は、新規連結子会社による増加分や、のれん償却費により増加するものの、既存事業は引き続きコスト削減を進める
- アウトソーシングの影響等により利益は下期偏重となるが、増収増益を見込む

連結通期業績

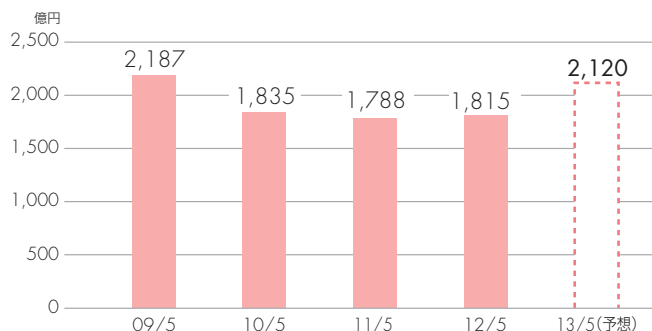
	2012年5月期	2013年5月期(予想)	増減率
売上高	1,815億円	2,120億円	+16.8%
営業利益	19.6億円	30.0億円	+52.7%
経常利益	20.9億円	29.0億円	+38.7%
当期純利益	0.3億円	3.5億円	+1,086.4%
1株当たり当期純利益	78.78円	934.57円	+1,086.4%

配当について

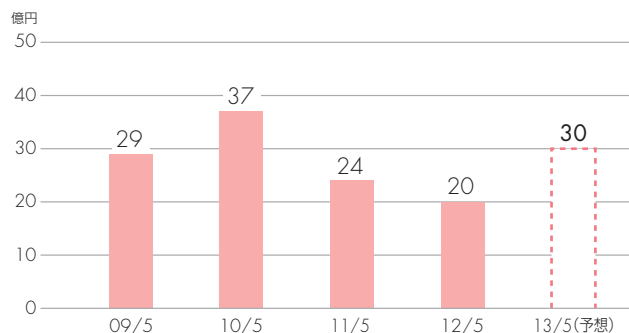
- 当期は業績や株主還元を総合的に勘案し、1株当たり1,000円の期末配当を実施します。
- 次期は、上期は四半期純損失を予想しているため中間配当は見送りとさせていただきますが、期末配当は当期と同じ1株当たり1,000円を予定しています。

	中間	期末	年間
2012年5月期	—	1,000円	1,000円
2013年5月期(予想)	—	1,000円	1,000円

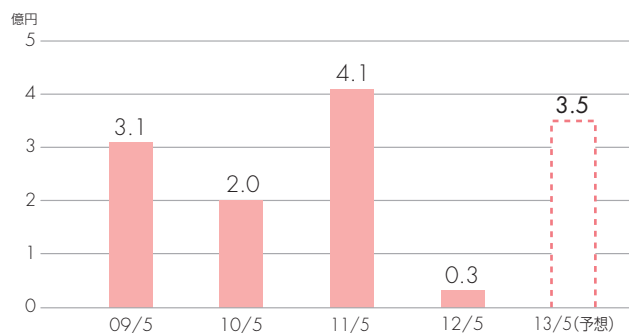
売上高



営業利益



当期純利益



(単位:百万円)	前期 (自2010年6月1日 至2011年5月31日)	当期 (自2011年6月1日 至2012年5月31日)
売上高	178,806	181,498
売上総利益	33,558	33,805
販売費及び一般管理費	31,125	31,840
営業利益	2,432	1,964
経常利益	2,571	2,091
当期純利益	412	29

(単位:百万円)	前期末 2011年5月31日現在	当期末 2012年5月31日現在
総資産	60,564	70,889
負債	34,922	44,593
純資産	25,642	26,295
自己資本比率	34.7%	29.0%

主な増加要因は、キャブラン、安川ビジネススタッフ、ビーウィズの連結子会社化。内訳は売掛金の増加4,023百万円(うち3社による増加3,029百万円)、無形固定資産の増加4,382百万円(同4,682百万円)、敷金及び保証金の増加651百万円(同527百万円)等。

主な増加要因は、短期借入金の増加1,029百万円、未払金の増加1,626百万円(うち3社による増加769百万円)、未払費用の増加1,833百万円(同1,411百万円)、長期借入金の増加2,993百万円等。

主な増減は、当期純利益29百万円、少数株主持分の増加1,114百万円(うち3社による増加628百万円)、配当金の支払374百万円等。

(単位:百万円)	前期 (自2010年6月1日 至2011年5月31日)	当期 (自2011年6月1日 至2012年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,419	3,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	166	△5,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,695	2,479
現金及び現金同等物の当期末残高	22,563	22,739

主な増減は、税金等調整前当期純利益2,218百万円、営業債務の増加532百万円、減価償却費2,149百万円、法人税等の支払額1,748百万円等。

主な増減は、投資有価証券の売却297百万円、敷金及び保証金の回収355百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4,424百万円、有形固定資産の取得747百万円、無形固定資産の取得689百万円、事業譲受による支出410百万円等。

主な増減は、長期借入による収入5,600百万円、長期借入金の返済2,050百万円、配当金の支払660百万円、ファイナンス・リース債務の返済759百万円等。

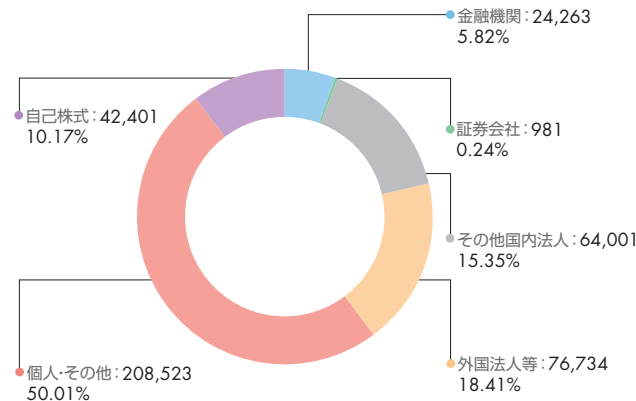
株式の状況

会社が発行する株式の総数: 1,500,000株

発行済株式総数: 416,903株

株主数: 8,167名

所有者別株式数



株主(上位10名)

南部靖之	147,632株	(35.41%)
株式会社パナグループ(自己株式)	42,401株	(10.17%)
株式会社南部エンタープライズ	37,378株	(8.97%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー-505223	32,254株	(7.74%)
株式会社サンリオ	12,000株	(2.88%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行 決済営業部)	10,980株	(2.63%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー-505225	8,082株	(1.94%)
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	6,962株	(1.67%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	6,882株	(1.65%)
パナグループ従業員持株会	5,796株	(1.39%)

※自己株式42,401株(発行済株式総数に対する所有割合10.17%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有しておりません。

役員

代表取締役グループ代表	南部 靖之
取締役会長	竹中 平蔵
取締役専務執行役員	深澤 旬子
取締役専務執行役員	山本 絹子
取締役専務執行役員	若本 博隆
取締役常務執行役員	仲瀬 裕子
取締役	佐藤 司
取締役	森本 宏一
取締役	鈴木 雅子
取締役	渡辺 尚
社外取締役	平澤 創 ^{*1,3}
社外取締役	衛藤 博啓 ^{*1,3}
社外取締役	後藤 健 ^{*1,3}
常勤監査役	肥後 一雄
社外監査役	船橋 晴雄 ^{*2,3}
社外監査役	松浦 晃一郎 ^{*2,3}
社外監査役	野村 周央 ^{*2,3}

*1 取締役の平澤創氏、衛藤博啓氏、後藤健氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

*2 監査役の船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

*3 平澤創氏、衛藤博啓氏、後藤健氏、船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は東京証券取引所の定めに基づく独立役員です。

会社概要

社名	株式会社パナグループ(Pasona Group Inc.)
本社	〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング
グループ本部	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4
創立	1976年 2月16日
設立	2007年 12月3日
資本金	50億円
事業内容	人材関連事業を行うグループ会社の経営戦略策定、業務支援、経営管理ならびに雇用創造に係わる事業開発等

株式会社パナグループ

Tel. 03-6734-0200(代)
www.pasonagroup.co.jp



この株主通信は「FSC®認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。

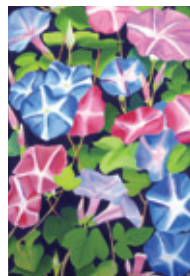
株主メモ

証券コード	2168
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	1株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-288-324(フリーダイヤル)

IRメール登録のご案内

パナグループIRサイトでは、IR情報をタイムリーにお知らせするメール配信の登録を受け付けています。下記アドレスにアクセスの上、是非ご登録ください。

www.pasonagroup.co.jp/ir



表紙の絵:「朝顔」

佐竹 未有希(知的障害)

アーティスト社員として絵を描くことを仕事にしています。アート工房のデザイン画作成が得意で、彼女の作品をモチーフにした商品は特に人気があります。

「大好きな絵を描くことを仕事にできてとても嬉しいです。これからは色を思いっきり使って描いていこうと思います。」(本人談)

パナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年に「アート村」をスタートして以来、アートを通して障害者の社会参加を支援しています。アート村アーティストの作品を使った様々なオリジナル商品を企画し、企業のCSR活動のお手伝いをしています。